



エコハウスを中心とした協働・生徒間連携 その7

SPH通信 98号で話し合われた工事について進捗状況。

「電気科から機械科に地中の温度を測定するための熱電対を地下80mに設置する作業」について

(1) 事前に機械科職員が電気科の課題研究で講義したのち打ち合わせを行った。



【測定箇所について講義】

【データロガーの使い方】

【測定現場打合せ】

(2) 課題研究の時間に電気科と機械科で敷設作業を行った。



【全長約100mの熱電対】

【浮力対策チェーン】

【敷設作業・電気&機械】

【生徒の感想】

- ・ SPHにかかわることができてよかった。
- ・ 90mのチェーンが全部入るくらい深い測定孔だと思った。
- ・ ある程度の深さまでチェーンを下すと自重で自然に下がっていく。
- ・ 電気科のやっていることが何もわからなかった。

【職員の感想】

- ・ 事前に科を横断した打合せと準備ができていたので作業自体は課題研究1回で終わった。
- ・ 作業手順についても教員が要点を口頭で指示するだけで、生徒自身も考えながら取り組んだ。
- ・ 学科を横断した協働作業であったが、その都度コミュニケーションを取りながら作業した。

